

関係者各位

■■ ヒットコンテンツ研究所 プレスリリース No. 25 2010/10/1 (金) ■■

デジタルハリウッド大学大学院 主催
「大ヒットの方程式 ソーシャルメディアのクチコミ効果を数式化する」
出版記念セミナー開催

この度、弊社代表の吉田就彦と弊社研究員新垣久史が、鳥取大学石井晃教授と共著

した著作「大ヒットの方程式 ソーシャルメディアのクチコミ効果を数式化する」

の刊行を記念して、デジタルハリウッド大学大学院（本校：東京都千代田区学長 杉山知之 以下本大学院）の主催により、著者3名による特別セミナー「映画ブログ分析に見るクチコミ・マーケティングの可能性～AVATAR とアリス・イン・ワンダーランドの事例比較等により～」を開催いたします。

また、当日はUstream(ユーストリーム)を活用した本セミナーの生中継も実施いたします。

本著作は弊社吉田就彦が代表を務めるデジタルハリウッド大学大学院ヒットコンテンツ

研究室と、鳥取大学石井晃教授の5年間にわたる研究成果をまとめたもので、映画興業とブログを分析することで、ソーシャルメディアがヒットに与える影響力を分析しています。

本著作では、CGM(コンシューマー・ジェネレイテッド・メディア)マーケティング

を初めて数式化した上で、「ダ・ヴィンチ・コード」「桃屋のラー油」「水木しげるロード」などのさまざまなヒット現象の経緯を分析し、ヒットを創り出す手法を提示しています。

定量分析である「ヒットの数理モデル分析」と定性分析である

「ヒットの話題共鳴分析」のふたつの分析手法により、映画のみならず、

様々なマーケティング領域に利用可能なソーシャルメディアの活用法を提案しています。

今回の出版記念セミナーでは、本著作で紹介できなかったデータを含めて3名の著者が集って盛んにソーシャルメディアのマーケティング利用の可能性を議論していきます。

また、本著作では紹介できなかったデータや新たな知見などを著者が追加していく

情報サイト「大ヒットの方程式annex」<http://hit.dhmsl.jp>も開設いたしました。

つきましては、10月27日（水）に開催いたします当セミナーに、万障お繰り合わせの上、ご参加いただけますようお願い申し上げます。

【本のご紹介】

- タイトル：「大ヒットの方程式 ソーシャルメディアのクチコミ効果を数式化する」
- 発売日：2010年9月15日（水）
- 価格：2,100円
- 体裁：単行本（ソフトカバー）：208ページ
- 著者：吉田 就彦、石井 晃、新垣 久史
- 出版社：ディスカヴァー・トゥエンティワン

【出版記念セミナー 概要】

「映画ブログ分析に見るクチコミ・マーケティングの可能性
～AVATARとアリス・イン・ワンダーランドの事例比較等により～」

■日 時：2010年10月27日（水） 19:30～21:00（開場 19:15）

■場 所：デジタルハリウッド大学大学院 秋葉原メインキャンパス

101-0021 東京都千代田区外神田 1-18-13 秋葉原ダイビル7階

（アクセス）JR「秋葉原駅」電気街口徒歩1分

日比谷線「秋葉原駅」徒歩5分

銀座線「末広町駅」徒歩5分

つくばエクスプレス「秋葉原駅」徒歩3分

■定 員：50名

■費 用：無料

※「大ヒットの方程式 ソーシャルメディアのクチコミ効果を数式化する」をご持参いただくと、セミナー内容をよりご理解いただけます。会場での販売もご

ざいます。

■主催：デジタルハリウッド大学大学院

■Ustreamによる生中継

【デジタルハリウッド大学院 Ustream チャンネル】

>> <http://www.ustream.tv/channel/dhgs-tv>

【Ustream.tv のオフィシャルサイト】

>> <http://ustream.tv/>

■本セミナー内容【予定】

第一部 ヒットの数理モデルによるブログ定量分析

●デジタルハリウッド大学大学院教授 吉田就彦

●鳥取大学大学院教授 石井晃

これまでのデジタルハリウッド大学と鳥取大学との共同研究成果から、映画の興

行収入推移は

ブログの書込み数の推移ときわめて相関が高いことが分かっている。これはクチ

コミが映画の

成功にはきわめて重要な事を示している。「崖の上のポニョ」「AVATAR」

「アリス・イン・ワンダーランド」等の 2009～2010 年度公開の最新作品の分析結

果を公開。

第二部 ヒットの話題共鳴分析によるブログ定性分析

●デジタルハリウッド大学大学院教授 吉田就彦

●デジタルハリウッド大学大学院ヒットコンテンツ研究室 新垣久史研究員

最近の話題の映画「AVATAR」と「アリス・イン・ワンダーランド」の話題共鳴分

析結果により、

3D 映画の可能性を含めた 2 作品のヒットを比較し定性分析を行った。

作品性以外に 2 作品が 3D 映画であったことから、今後の 3D 映画マーケットの可能性や

その際の必須ヒット要因なども指摘。

第三部 ヒトネタ・マーケティングがこれからのマーケティングを変える

●デジタルハリウッド大学大学院教授 吉田就彦

上記定量・定性分析から見えることは、クチコミを起こす有効なインフルエンサー「ヒト」

の特定と広がっていく有効な話題「ネタ」の特定である。それを特定することで
有効な
クチコミ・マーケティングが可能となる。それは映画マーケティングだけに
関わらず
さまざまな領域で応用が可能である。世界的に起こっているソーシャルメディア
台頭時代のマーケティング手法のひとつとして、その方向性を示す。

■著者プロフィール

○石井 晃 (いしい・あきら)

鳥取大学工学研究科機械宇宙工学専攻応用数理工学講座教授

1957 年生まれ。早稲田大学大学院理工学研究科物理学及応用物理学専攻博士後
期
課程修了。

理学博士。鳥取大学工学研究科機械宇宙工学専攻応用数理工学講座教授。

2008 年より科学技術振興機構戦略的創造研究推進事業 CREST 研究プロジェクト
担

当研究員、

科学技術振興機構地域イノベーション創出総合支援事業育成研究プロジェクト
分

担研究員。

東京大学物性研究所、理化学研究所、統計数理研究所の共同研究員。

デジタルハリウッド大学ヒットコンテンツ研究室客員研究員。

専門は計算物理学的手法を用いた表面科学。特にナノテクや炭素材料への青色
発

光デバイス作成、

環境調和型触媒、グラフェンなどの理論的研究に取り組んでいる。

○吉田 就彦 (よしだ・なりひこ)

デジタルハリウッド大学大学院 専任教授 / (株) ヒットコンテンツ研究所 代
表

取締役社長

1957 年生まれ。早稲田大学工学部機械工学科卒。キャニオンレコード(現ポ
ニーキャニオン)入社、

制作ディレクターや宣伝プロデューサーとして「チェッカーズ」や「おニャン
子

クラブ」等

数々のヒットを手がける。映画プロデューサーとしても、ビートたけし原作・
準

主演の『教祖誕生』等の制作を行う。

ポニーキャニオンでの最後の仕事は、国民的な大ヒットとなった『だんご3兄弟』。

1999年デジタルガレージに取締役副社長として入社。現在(株)ヒットコンテンツ

研究所代表取締役社長、

(株)テイツー取締役、デジタルハリウッド大学大学院教授、ヒットコンテンツ研

究室代表、

コンテンツ学会理事、日本マーケティング・サイエンス学会正会員、人材育成学

会正会員。

著書に『ヒット学~コンテンツ・ビジネスに学ぶ6つのヒット法則』(ダイヤモンド社)、

『アイデアをカタチにする仕事術~ビジネス・プロデューサーの7つの能力』(東洋経済新報社)がある。

○新垣 久史 (あらかき・ひさし)

1974年生まれ。デジタルハリウッド大学大学院デジタルコンテンツ研究科デジタルコンテンツ専攻修士課程(第1期)修了、デジタルコンテンツマネジメント

ト修士(専門職)。

鳥取大学大学院工学研究科機械宇宙工学専攻博士後期課程在籍。

デジタルハリウッド大学大学院ヒットコンテンツ研究室客員研究員、

日本マーケティング・サイエンス学会正会員。

2007年、マーケティングとテクノロジーの融合を主眼に置いたシステム開発を行う、

合同会社シナジーネットワーク設立。同社代表就任。

株式会社ヒットコンテンツ研究所マーケティング・アナリスト。

セミナー詳細はこちら : <http://gs.dhw.ac.jp/event/20101027/>

■デジタルハリウッド大学大学院 ヒットコンテンツ研究室について

デジタルハリウッド大学大学院 弊社吉田就彦が代表を務める「ヒット学」を科

学的に検証、

進化させるための研究を行う研究室。

「ヒットの数理モデル分析」「ヒットの話題共鳴分析」によるマーケティング分析やEQ理論によるヒットを生み出すプロデューサーの能力分析等の研究を行っており、ヒットを生み出すメカニズムを明らかにし、その再現性（ヒットを生む事）を高めることを目的としている。

■「大ヒットの方程式 annex」について

本著作では紹介できなかったデータや新たな知見などを著者が追加していく情報サイトを公開中。

「大ヒットの方程式annex」のURLはこちら：<http://hit.dhmsl.jp>

+-----+-----+

【当プレスリリースに関する問い合わせ先】

株式会社ヒットコンテンツ研究所 担当：日高

URL：<http://www.hitcontentlab.jp/> Mail：info@hitcontentlab.jp

TEL：03-5281-9226 FAX：03-3292-2233

+-----+-----+